

2026 年 9 月 30 日

各位

株式会社北海道銀行

**北海道電力株式会社とほくほくサステナブルファイナンス
(トランジション・ファイナンス型)を契約締結**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、北海道電力株式会社（代表取締役社長執行役員 齋藤 晋、以下、「ほくでんグループ」）と「ほくほくサステナブルファイナンス（トランジション・ファイナンス型）」※¹の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

（※¹）[2023 年 9 月 1 日付「ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始について」参照](#)

記**1. トランジション・ファイナンスについて**

気候変動への対策を検討している企業が、脱炭素社会の実現に向けて長期的な戦略に則った温室効果ガス削減の取組みを行っている場合に、その取組みを支援することを目的とした融資です。また、本件はトランジション※²戦略に沿った目標設定を行い、達成状況に応じて利率が変動する資金使途不特定のローンです。

（※²）トランジションとは、温室効果ガスの排出を削減し脱炭素化社会に向けた経済や産業に移行すること。

2. 本ローンの概要

借 入 人	北海道電力株式会社
融 資 金 額	3,000 百万円
実 行 日	2026 年 9 月 24 日（木）
KPI	温室効果ガスについて、ほくでんグループにおけるサプライチェーン排出量（スコープ 1+2+3）
SPT	2013 年度比で 2030 年度に 46%削減
インセンティブ	SPT 達成状況に応じた適用利率の優遇
第三者評価	2023 年 2 月策定（2025 年 8 月改訂）の「北海道電力グリーン／トランジション・ファイナンス・フレームワーク」※ ³ について、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より、各種基準への適合性の確認および適格性の評価※ ⁴ を取得。

（※³）[北海道電力グリーン／トランジション・ファイナンス・フレームワーク](#)

（※⁴）[北海道電力グリーン／トランジション・ファイナンス・フレームワークセカンド・パーティー・オピニオン](#)

3. 北海道電力株式会社について

ほくでんグループは、2025 年 3 月 26 日に公表した「ほくでんグループ経営ビジョン 2035」において、サプライチェーン排出量（スコープ 1+2+3）を 2013 年度比で 2030 年度に 46%削減、2035 年度に 60%削減を目標に掲げ、2050 年の北海道における「エネルギー全体のカーボンニュートラル」の実現に向け、脱炭素化に向けた施策を推進しています。本件は、環境目標の達成状況に応じて適用金利が変動する仕組みを活用し、調達した資金は、カーボンニュ

ートラルの実現に向けたさまざまな取り組みに充当されます。

経営ビジョンに掲げる「北海道の発展に向けた GX 実現への挑戦」、「新たな価値創造に向けた挑戦」、「持続的な成長に向けた経営基盤の強化」の経営テーマのもと、ESG を含めたサステナビリティの視点を重視し、電源の脱炭素化や脱炭素燃料の供給に関する取り組みに加え、省エネや電化の推進など、需要面の取り組みを進めています。これらの取り組みを通じて、2050 年の北海道におけるエネルギー全体のカーボンニュートラル実現を目指すとともに、北海道の産業振興や地域課題の解決に貢献していきます。

本ローンの調達を通じて、こうした脱炭素化に向けた取組みを幅広いステークホルダーに発信するとともに、資金調達手段の多様化・安定化につなげていきます。

4. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道銀行 経営企画部	サステナビリティ推進室	北谷	Tel(011)233-1009
経営企画部	広報 CSR 室	坂野	Tel(011)233-1005